

2016

10/16 SUN

京都SJCD 第2回例会

平成28年10月16日（日曜）

場所：メルパルク京都

<http://www.mielparque.jp/kyoto/>
AM10:00～PM5:00



1982年 大阪歯科大学卒業
1987年 大阪歯科大学大学院修了
(歯周病学専攻・歯学博士)
1992年 大阪歯科大学退職
大阪歯科大学歯周病学講座
非常勤講師
医療法人のふとう歯科医院 開設
2004年 大阪歯科大学歯周病学講座
大学院講師（非常勤）専任教員
2005年 コロンビア大学研修
2006年 大阪歯科大学歯周病学講座大学院講師退職
JIADSペリオコース講師
2011年 大成学院大学歯科衛生士学校歯周病学講師
2014年 ハノイなごみクリニック開設理事
2015年 ハノイNHATインプラント研修会主催

日本歯周病学会歯周病専門医・指導医
日本臨床歯周病学会認定医・指導医
日本臨床歯周病学会歯周インプラント認定医・指導医

10:00～10:05 尾上会長挨拶

10:10～10:50 赤松由崇先生

先天欠如を伴う空隙歯列に対して矯正処置とインプラント修復を行った症例

11:00～11:50 新井孝彦先生

インプラント埋入時期の考察

13:00～17:00 信藤孝博先生 ご講演

信藤孝博先生 講演会

『 歯周病・インプラント治療のための
Blood Supply(血液供給) 』

近年、歯科材料の発達が進むにつれて、歯周組織再生療法やインプラント治療が飛躍的に発展してきた。しかしながら臨床術式を考える際、再生治療に用いる歯科材料やインプラント材料などの持つ特質だけが一人歩きし、アクティブサイトである生体の基本的反応を理解することがおろそかになる傾向は否めない。つまり、治療のカスケードを微小循環からも理解して日常臨床に応用すれば、治療の本質が見えてくるだけでなく、術式のオプションがさらに拡大し、臨床術式の選択に対しても正しい評価を下すのに役立つものと考えられる。一方、歯周組織の微小循環は大切な機構であるにも関わらず、歯と骨に囲まれた歯根膜や歯槽骨に付着する骨膜のように解剖学的状況が障害となり、解明しなければならない多くの課題を残している。これら微小循環についての知識を加える事ができれば、血液供給にスポットを当てた“外科術式の評価”、また口腔疾患に対する“病態の解明”など多くの問題解決に役立てる事が可能であり、得られたデータが臨床の場にフィードバックされるものと確信できる。

今回、歯周治療・インプラント治療に必要な外科処置に関して、治療のエビデンスおよび術式のStep by Stepを血液供給という視点から解説する。

参加費 会員無料 オブザーバー 歯科医師 5000円（当日5500円）
技工士 3500円 コデンタルスタッフ3000円（当日3500円）
学生・20才代の歯科医師 無料

振込先 京都銀行 八木支店 普) 3630046 京都SJCD会計 秋田洋季

お問い合わせ 京都SJCD事務局 0771-42-2345（秋田）

お申し込み方法 onoedc@me.com にお名前・勤務先・ご住所・電話番号・E-mailなどをお書き頂いて送信してください。参加費は振込でお願いします。※手数料はご負担お願い致します。